



## 男女共同参画センター事業報告

### 第4回講座 未来への一歩～みんなで取り組む子育て～

日時・場所：12/6(土)10:00～12:00 中央公民館 参加者：20人  
講師：茨城県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」主査 方波見 真弓 氏



「育児も仕事も頑張りたい！」「性別に関係なく、積極的に育児に関わりたい！」

町の未来を考える「あみ未来塾」との連携により、ワークライフバランスをテーマに、子育て世代の暮らし方を見直す講座を県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」のご協力のもと、ワークショップ形式を取り入れて開催しました。

自分らしい働き方や暮らし方に気づき、誰もが充実した生活を送るための心構えと実践方法を学ぶことができました。

#### 参加者の声



子育てには周囲の方の  
あたたかい理解や協力も大切です

- ワークやグループでの話し合いが多く、自分について振り返ったり、他の人の考えを知る良い機会になった。
- 親子と一緒にいられる時間は意外と短いと聞き、育休を取る人に対して協力をするように心がけたいと思った。
- 生活スタイルを見直す「きっかけ」になった。  
タイトルの「未来を変える“はじめの一歩(行動)”」の意味がよくわかった。
- 男性の育休体験者がお子さんを連れてこられたのはとても良かった。1歳10か月でとてもかわいらしく良い子でした。育休のおかげでしょうか、お父さんとの関係がとても良いですね。



令和7年7月に厚生労働省が発表した令和6年度の民間企業の男性育休取得率は40.5%に増加しましたが、より一層の男性の育休取得が望まれます。

また、子育ては、夫婦や家族で取り組むだけでなく、社会全体で、子育てをしている方を支援することができるように、みんなで、働き方や暮らし方、ワークライフバランスについて考えていきましょう。

問合せ先：阿見町男女共同参画センター（愛称：AMIふらっとセンター）

〒300-0333 阿見町若栗 1886-1（中央公民館1階） 9:00～17:00（火曜日～日曜日）  
電話・FAX：029-896-3181 E-mail：[danjokyodosankakucenter@town.ami.lg.jp](mailto:danjokyodosankakucenter@town.ami.lg.jp)

## 第5回講座 捨てられなくてもスッキリ実現！片づけ講座

日時・場所:2/7(土)10:00~12:00 中央公民館 参加者:22人  
講師:整理収納アドバイザー 坂本 咲恵子 氏



整理収納アドバイザー 坂本 咲恵子氏より、片付けの基本知識や成功のコツ、収納のポイントについて、スライドを用いた講義形式でご説明いただきました。

一気に片付けるより、「今日はこの引き出し」「今日は10分だけ」のように片づける範囲を狭くすることが、成功のコツとのことです。

今回の講座をこれからの生活に役立て、より快適な暮らしを実現していきましょう。

### 参加者の声



- 整理整頓の基準がわかりました。生活の改善に役立つと思います。
- すぐに捨てずに、保留BOXを設けて保管期間を設けるということに少し気持ちが楽になり、やる気が出てきました。
- 取りかかり方(感情や思いのないものから捨てるなど)を教えてくださいました。良かったです。
- 所有するものの適量を見定めることが大事だと思いました。

## 男女共同参画センター10周年パネル展を開催しました

期間・場所: 1/29(木)~2/6(金) 中央公民館 展示ホール

阿見町男女共同参画センターは、平成27年1月27日に男女共同参画社会推進活動の拠点として開設され、町民の皆さまとともに、男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動に取り組んでまいりました。

令和7年に開設10周年を迎えたことを記念して、センターのこれまでの歩みをテーマに、中央公民館にてパネル展を行いました。



10周年を記念して  
作成されたパンフレット



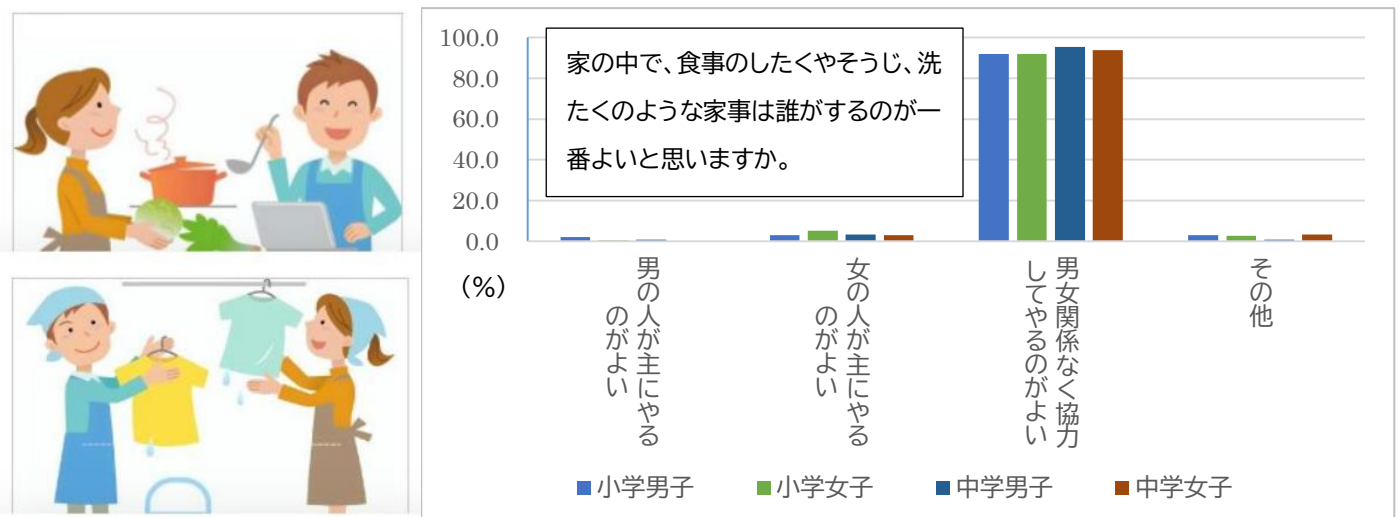
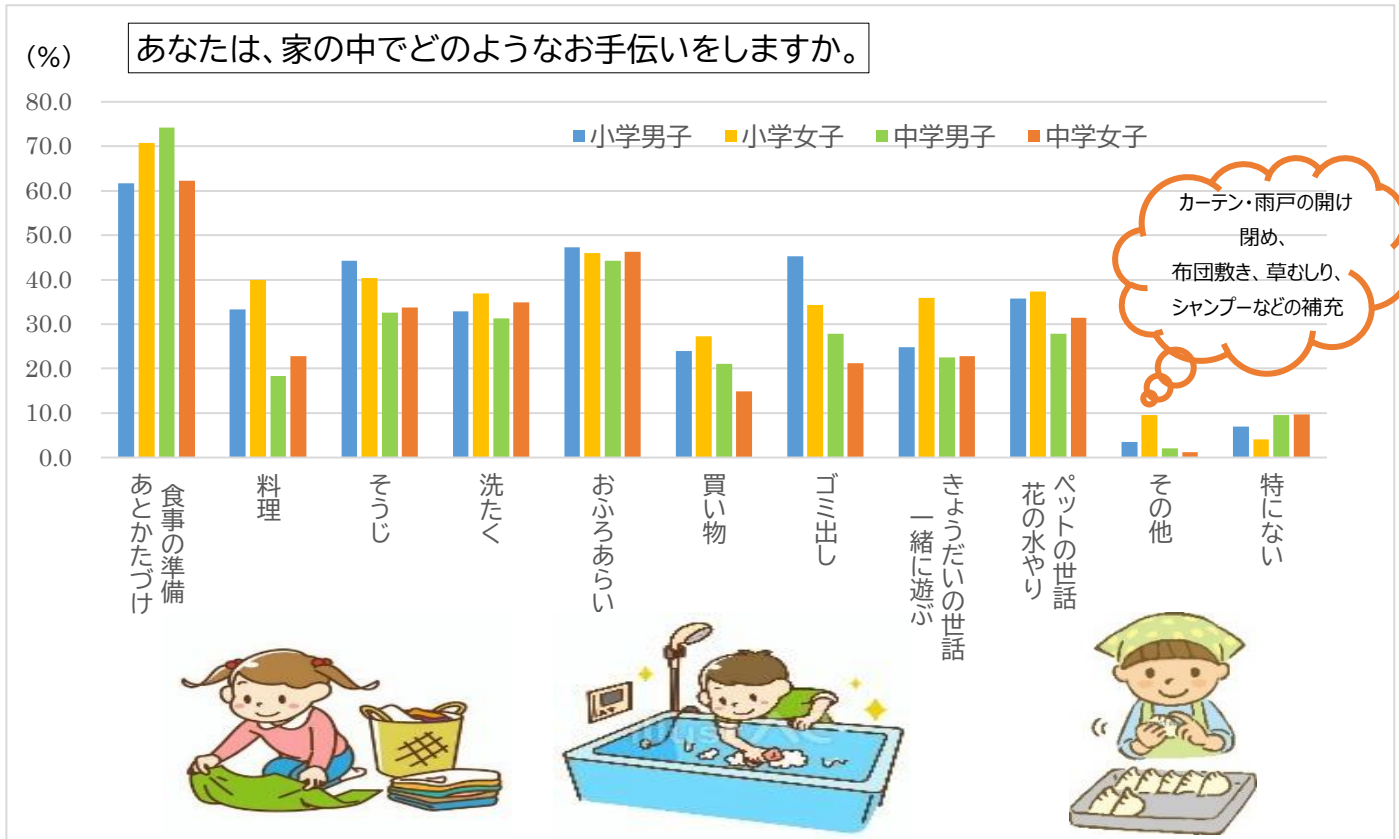
### 参加者の声

- ・センター開設からの男女共同参画センターの歩みがよくわかりました。
- ・10年の歴史を感じることができました。
- ・女性団体の代表者インタビューが掲載されたパンフレットがとてもよかった。この方たちの活動の積み重ねのおかげで今の阿見町があるのですね。
- ・これからも情報発信をお願いします。

# 令和 7 年度男女共同参画に関する小・中学生意識調査

令和 7 年 7 月に町内小学校の 5 年生 429 人、中学校の 2 年生 396 人を対象に「男女共同参画に関する小・中学生意識調査」を実施しました。

阿見町の小中学生がどのように男女共同参画について考えているのか、アンケートの一例をご紹介します。



小学生、中学生ともに「食事の準備・あとかたづけ」「お風呂あらい」のお手伝いをしている人が多いということがわかります。

また、「家の中で、食事のしたくやそうじ、洗たくのような家事は誰がするのが一番よいと思いますか。」の問いでは、9割以上の小学生、中学生が「男女関係なく協力してやるのがよい」と答えています。性別に関係なく、家事をみんなで協力することが大切ですね。

# ひと あみ・男女・まち・ねっとの活動報告

※「あみ・男女・まち・ねっと」は、町の男女共同参画推進団体です

1月23日に、男女共同参画社会を推進するリーダーとしての資質向上と広い視野を養うことを目的に開催されている女性活躍推進研修会に参加しました。



国立女性教育会館にて

研修会で訪れた国立女性教育会館は、埼玉県嵐山町にある男女共同参画社会の取組みを推進する日本で唯一の施設です。

「女性アーカイブセンター」を併設し、男女共同参画や女性関連の専門図書として、図書約15万冊、雑誌約4,200冊、タイトル・新聞切り抜き59万件以上を所蔵しています。

男女共同参画センターでは、国立女性教育会館から資料を借用し、パネル展で活用するとともに、職員を講座の講師として招聘しています。

渋沢栄一記念館は、展示品が充実し、資料解説員による説明が分かりやすく、渋沢栄一の生涯と功績を学ぶことができました。精巧に作られた渋沢栄一アンドロイドによる講義や巨大な銅像も見ごたえがありました。



渋沢栄一記念館にて

移動時間は会員による出前講座を実施しました。

参加者からは、「役に立つ」、「もっと詳しく聞きたい」等の声が寄せられました。

出前講座の内容は、①男女共同参画社会、②老い支度(未来ノート)、③防災についてです。費用は無料です。地域やサークルの学習会等に、ぜひご利用ください。

申込みは随時受け付けておりますので、男女共同参画センターにお電話またはファクシミリでお申込みください。



バスの車内にて

## 出前講座(老い支度)を実施しました

参加者:11人

2月24日、総合保健福祉社会館において、ふれあい電話訪問員ボランティアの研修会の一環として、会員が出前講座を実施しました。

参加者から「一人暮らしの高齢者の不安や気持ちがよく理解できた」、「これからの人生を前向きに生きていくためのヒントがあった」等の感想をいただきました。



## 次年度センター講座のお知らせ(予定)

項目	テーマ	期日・場所	定員
第1回講座	「インフレ時代のお金の守り方・育て方」(案) ～貯めるから増やすへ!新NISA・iDeCoで考えるこれからの暮らし～ 講師:ファイナンシャルプランナーAFP 内村 しづ子 氏	6/27(土) 中央公民館	20人

※詳細は5月下旬に広報あみ、町ホームページ、ポスター等でお知らせします。